

長岡戦災資料館

長岡戦災資料館は、長岡空襲を風化させることなく語り継ぐとともに、平和の尊さを次世代に確実に伝えていくため、市民の皆さんと一緒に作り上げていく施設です。



太平洋戦争下の茶の間

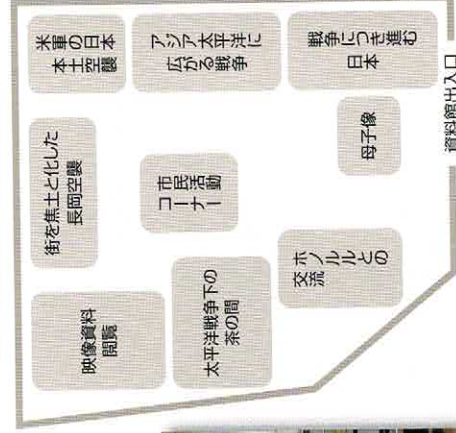


1階展示



正面入口

長岡戦災資料館案内図



空襲で時間が止まった懐中時計



炭化したそめん



M26伝単投下用ケース



3階に展示の「殉難者遺影」

- ### 長岡戦災資料館の活動
- ・戦災資料の収集と整理・展示
 - ・空襲体験談の収録と発行
 - ・空襲体験談の映像化
 - ・空襲の体験を聞く会の開催
 - ・空襲史跡めぐりの実施
 - ・企画展の開催



模擬原子爆弾模型(バンブキン爆弾)



※1階及び3階の展示は変更される場合があります。

すさまじい長岡空襲

1945(昭和20)年7月20日、左近に1発の超大型爆弾が投下されました。長岡に投下された初めての爆弾でした。(後に模擬原子爆弾と判明)

その12日後、8月1日の午後9時6分、長岡の夜空に警戒警報のサイレンが鳴り響きました。続いて10時26分、警戒警報は空襲警報に変わり、直後の10時30分にアメリカ軍のB29による焼夷弾爆撃が始まりました。

B29は一機又一機と焼夷弾を投下しました。徹底的に攻撃する無差別爆撃によって、長岡のまちは瞬く間に炎に包まれていきました。

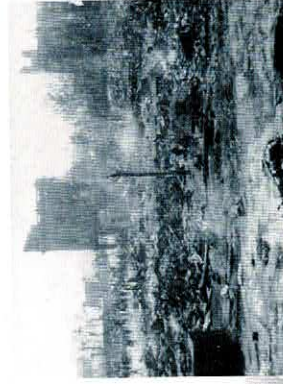
猛火の中を、母の名を呼び、子の名を叫んで逃げ惑う人びと。多くの人が炎に飲み込まれていく様子は、地獄絵図にがらだったといえます。

空襲は、8月2日の午前0時10分まで続きました。1時間40分に及ぶ空襲で、市街地の8割が焼け野原となり、現在わかっているだけで1,488人の尊い生命が失われました。

投下された焼夷弾は925トン、163,000発あまりの焼夷弾子弾が豪雨のように降りそそぎ、長岡の街を焼き払ったのです。

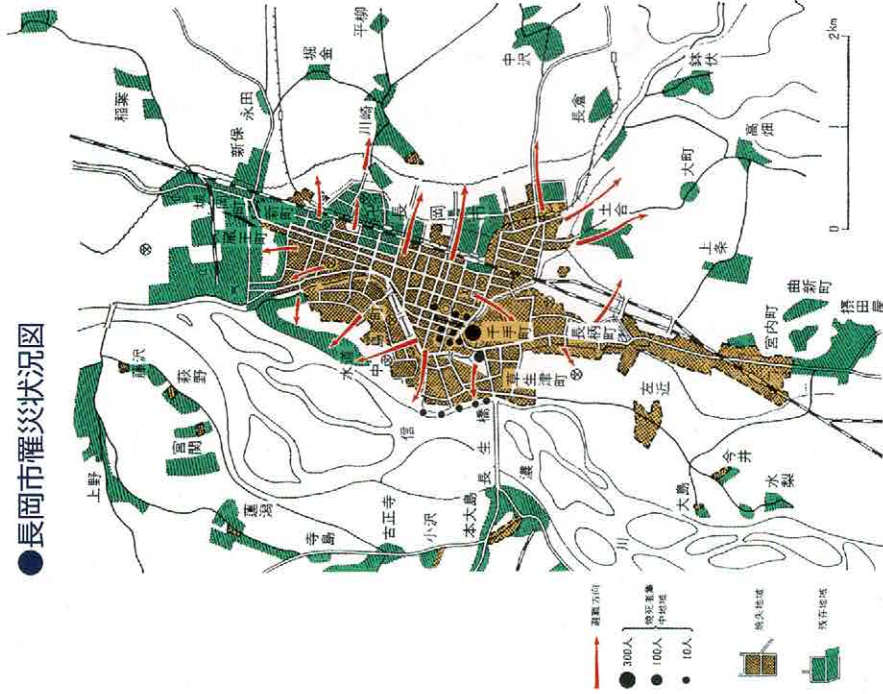


B29からの焼夷弾投下



大手通りから見た安米館と公会堂

●長岡市罹災状況図



1970(昭和45)年発行「激動の長岡」より

●長岡空襲による被害状況

罹災時の人口 (昭和20年7月)	74,508人
空襲開始時刻	午後10時30分
爆撃機の数	125機
投下爆弾量	925トン
死者数	1,488人
罹災戸数	11,986戸



焼夷弾

市民が体験した長岡空襲

七里 アイさん(当時、表町2丁目に住住)

1945(昭和20)年8月、あの年は本当に暑い夏でした。私は蚊帳の
中で長女的美智子をうちわでバタバタ扇ながら、寝かせていまし
た。すると警戒警報のサイレンが鳴ったので、私は美智子をおぶって、
おじいさんと一緒に店先に掘った防空壕の中に入りました。

そのうち警戒警報から空襲警報のサイレンに変わってしまい、その
空襲警報のサイレンが鳴り終わらないうちに、「ザーッ」という音とともに
「バラバラバラバラ」とすごい音がしました。びくびくして、私だけ表に這
い出してみたら、家の前に鉄の棒が並んで火を噴いていました。もう驚
いて宮内方面を見たら、空が真っ赤でした。それで、おじいさんを防空
壕の中から引っ張り出して、美智子をおぶって、平潟神社の方へ逃げ
ました。

平潟神社には大きい防空壕がいくつもあり、なだれ込むように人が
入っていました。私も入ろうと思ったのですが、後ろから押しまぐられた
めに、背中の美智子が火がついたように泣いたので、ここに入ったらつ
ぶされると思って、入るのをやめました。

やめたけれども、周りに火の海でどっちに逃げればよいかわからなくな
って、本当にどこにも出るのかわからないまま、火の中をぐぐって走りま
した。そうしたら、着いたところが神明様の境内でした。そのときにはもう
周りにみんな家が燃えて、空が見えないくらい火でした。誰かが「川
川」って言ったので、みんなそこいらにいた人は、柿川の中に入りました。そ

資料館によく寄せられる質問

Q1 空襲に備えて、どんな準備をしていたのですか。

A 市民は各自も防空頭巾・救急袋を用意し
ていました。空襲警報のサイレンが鳴ると身につけ
て、縁の下や空き地に作られた防空壕に避難しま
した。また、各家の前に防火用水や火たき器が用意
されていました。各町内では神社や広い空き地に
大きな防空壕が造られていました。

Q2 B29はどこから飛んできたのですか。

A 日本からは南の太平洋上にあるマリアナ諸島の一つテニアン島の飛
行場を離陸し、約7時間半かけて、125機が長岡の上空にやってきました。

Q3 なぜ、長岡より人口の多い新潟市が空襲されず、県下で
長岡だけが空襲されたのですか。

A アメリカ軍は1945(昭和20)年にはいると原子爆弾攻撃の実行計画を



七里アイさん

柿川(船江町付近)

の年は暑かったので川のほとりになかったのですが、私もとらず川の中
に入りました。落とされたのが油脂焼夷弾でしたから、川の表面に油
が流れて、そこに火が落ちると川に火が走るんです。防空頭巾に火が
つくと、初めはみんな水で火を掛け合っていたのですが、とって間にも含
まないで、川の中に潜って火を避けたという状態でした。

美智子はいつも昼間にB29が来ると、天井を指差して「ブー、ブー」
と言っていました。その日も異常な飛行機の数に興奮して「ブー、ブー、
ブー」と背中ですつと言っていたのですが、気がついたら声はしません
でした。あわてて私は水の中で美智子を前に抱こうとしたのですが、お
んぶ紐が水で締まってどうしても解けないんです。必死におんぶ紐を伸
ばして伸ばして、やっと前に抱えてみたのですが、無残でした……。顔や
手足がひどく焼けた状態でした。

私は「美智子美智子」と叫びながら体を揺さぶったのですが、意識
がありませんでした。こんな時、親がしてあげられることはひとつしかな
かったんです。私は、自分の服を裂いて、水の中に入りながら一所懸命お
乳を飲ませようしました。美智子は、意識はなかったのですが、本能で
しょうか、吸い付いてはくれたんですけど、じきに放してしまいました。こ
うやって美智子は無残に死んでしまいました。

私は一緒に逃げたのに自分だけ助かって、子どもを殺してしまっ
た。本当に私はそれが悔やまれてなりません。

2012(平成24)年3月15日、アイさんは美智子さんのもとへ旅立られました。

立案しました。その投下予定地として京都・広島・新潟・小倉・長崎の5都市を
選んでいたため、新潟市への焼夷弾攻撃は行われませんでした。また、
1945(昭和20)年3月10日の東京大空襲以降、焼夷弾で日本の都市を無差
別爆撃する方針に転換したアメリカ軍は、人口の多い大都市からだんだん
少ない地方都市を攻撃しました。長岡市は県下で新潟市に次いで人口が
多かったため、空襲されました。

Q4 家を焼かれた人々はどのようなのですか。

A 親類や知人の家で間借りしたり、焼け跡に残っていた赤きざびたん
板やわずかな材木を使って掘って立て小屋を建てたりして住みました。1パツ
ク小屋ともいわれた大変粗末な家に住んだのです。冬など朝起きると部屋
中に吹雪が入り込んでいたそうです。



防空頭巾

利用案内

- 開館時間** 午前9時～午後5時
※最終入館は午後4時30分までです。
- 休館日** 毎週月曜日(その日が祝日になるときはその翌日)
年末年始
- 入館料** 無料
- 駐車場** 専用駐車場はありません。周辺の有料駐車場をご利用ください。

※団体(一般)・学校(グループ学習を含む)で見学の場合は、事前にご連絡をお願いします。

戦災資料館周辺地図



スタンプ欄等

年 月 日

所在地・お問い合わせ

長岡戦災資料館

〒940-0061 長岡市城内町2丁目6番地17
電話 0258-36-3269 FAX 0258-36-3335
Eメール syomu@city.nagaoka.lg.jp

ホームページ

長岡空襲史跡めぐり

長岡空襲史跡マップ



「長岡空襲史跡めぐり」モデルコース

長岡戦災資料館 1時間

▼ 車10分

① 模擬原子爆弾投下地点跡地の碑(左近町) 10分

▼ 車10分

② 柿川戦災殉難地の碑(柳原公園) 10分

▼ 徒歩5分

③ 戦災殉難者慰霊塔(平湯公園) 10分

▼ 車5分

④ 平和像(平和の森公園) 10分

▼ 車5分

⑤ 長岡空襲爆撃中心点の碑(明治公園) 10分

▼ 車10分

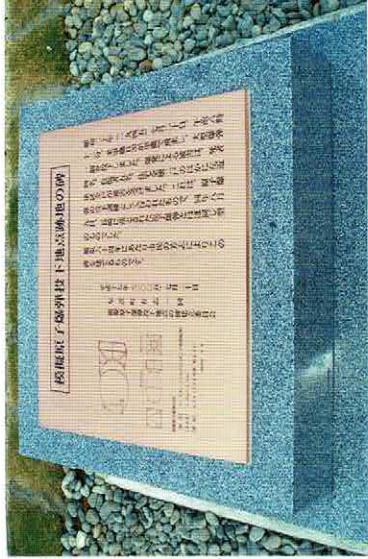
⑥ 戦災殉難者之墓(昌福寺) 10分

① 模擬原子爆弾投下地点跡地の碑

1945(昭和20)年7月20日午前8時13分。左近町(当時は上組村大字左近)の畑に1発の爆弾が投下されました。

4人が一瞬にして生命を失い、5人のけが人が出るとともに、全壊2戸のほか、残り29戸のすべての家が大きな損傷を受けました。

そのとき投下された爆弾は、1945年8月9日に長崎に落とされた原子爆弾とは同型、同重量(約5トン)の、模擬原子爆弾であったことが分かりました。本番前の投下訓練として長岡が選ばれ、津上製作所を目標としていましたが、誤って左近に投下されたことも分かりました。



模擬原子爆弾投下地点跡地の碑

② 柿川戦災殉難地の碑

柿川戦災殉難地の碑は、柳原町の柳原公園内(柿川の丹波橋側)にあります。空襲当時、153名の人々が亡くなった神明神社の境内だったところに建てられています。碑には「清き柿川の辺り柳原町神明神社境内で昭和二十年八月一日夜、太平洋戦争に於て此の地に空爆死された犠牲者の冥福を祈り、命日五十回忌に哀悼の意を捧げる(後略)」と刻まれています。



柿川戦災殉難地の碑

③ 戦災殉難者慰霊塔

戦災復興のまちづくりが進むにつれ、市民の間に、空襲で亡くなった人が297人と最も多かった平岡神社の境内に慰霊塔を建立しようという運動が始まりました。1958(昭和33)年3月、市議会に「慰霊塔の建設補助請願」が提出されました。そして、一般からの寄附と市及び県の補助金によって、同年11月に戦災殉難者慰霊塔が建設されました。慰霊塔には「このよう不幸を再び繰り返さないよう願いをこめて」と刻まれています。その後、老朽化のため戦災50周年に当たって1995(平成7)年に修復し、現在地に移動しました。

戦災殉難者慰霊塔

④ 平和像

本町3、平和の森公園

長岡空襲の犠牲者1,480余名の中には、280名あまりの学童が含まれていました。このいっさいな学童たちの霊を慰めるため、県教職員組合は全県下から寄附金を募り、集まったおおよそ150万円をもとに像をつくりました。慰霊と平和への願いを込めて「平和像」と名づけられ、1951(昭和26)年11月に長岡駅前広場に設置されました。

その後、この平和像は悠久山公園、明治公園と移動しましたが、1996(平成8)年、市民の平和への願いのシンボルとして新しく完成した平和の森公園に安住の地を得ました。

平和像
月一日長岡市戦災学徒名簿」が納められています。

平和像

⑤ 長岡空襲爆撃中心点の碑

坂之上町3、明治公園

長岡空襲では焼夷弾の投下によって、市街地の約8割が焼け野原となりましたが、アメリカ軍の資料から、爆撃の作戦が明らかにになりました。

アメリカ軍は1945年6月に長岡地域を空襲し、作成した航空写真に爆撃目標範囲となる半径4,000フィート(約1.2km)の円を描き、その円の中心を狙って爆撃する作戦をとったのです。その中心点にあたる明治公園内に碑があります。



長岡空襲爆撃中心点の碑

⑥ 戦災殉難者之墓

四郎丸4、昌福寺

身寄りが分らない遺体は合同で菩提に付されましたが、遺骨の埋葬場所はなかなか見つかりませんでした。そうしたなかで、四郎丸の昌福寺が埋葬場所の提供を快引き受けてくれることとなり、1945(昭和20)年9月に遺骨はようやく埋葬されました。そして、1947(昭和22)年9月には、市民の寄附により墓碑が建立されました。墓の正面には「戦災殉難者之墓」、裏面には「昭和二十年八月一日当市戦災 殉難者市長他千四百四十名を弔う」と刻まれています。



戦災殉難者之墓

お知らせ

◆平和学習のご案内

ご希望により空襲体験者のお話を聞くことができます。また、空襲体験談のDVD、焼夷弾レプリカ、空襲写真パネルを貸し出します。希望する場合は、あらかじめお申し込みください。



平和学習風景

◆「運営ボランティア」募集と資料提供のお願い

被災体験のお話や事業の企画運営など、戦災資料館の運営に協力していただける「運営ボランティア」を募集しています。また、長岡空襲に関する資料や戦中戦後の長岡市民のくらしを伝える実物資料を提供いただけるかたはご連絡ください。



展示資料の説明をするボランティア

長岡戦災資料館

昭和三十年夏の日を忘れない



母子像「懐い」 制作者・堀田 正

長岡空襲60周年を迎え、新潟県内唯一の大規模戦災都市として、空襲の惨禍を語り伝えるとともに、亡くなった方々の御霊を慰め、恒久の平和を希求する思いを伝えようと、市民の有志が募金活動を行い、2005(平成17)年に建立したものです。

この母子像には、愛見や家族への想い、感謝の念、恒久平和の願いなどいろいろな想いが込められています。